





図書館だより

2024年4月375号
 釧路市音別町ふれあい図書館
 編集者/美村由美子 ☎6-3435

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	 9 出陣 de おはなし会	10	11	12	 13 ふれあい DAY
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	 27 ふれあい DAY
28	29	30	*****			



↑本の検索・予約はこちらから↑



↑ふれあい図書館 HP ↑

**新刊紹介は裏
面にあります。**

今月のふれあい DAY

日時: 4月13日(土) 11:00~11:30
 場所: 児童閲覧室(図書館1階)にて
 『おりがみであそぼう』



日時: 4月27日(土) 11:00~11:30
 場所: 児童閲覧室(図書館1階)にて
 おはなし会: 『こどもの日バージョン』



2024年 本屋大賞 ノミネート作決定!!

今回 21 回目となる本屋大賞のノミネート(10冊)が発表されました。

今回の大賞受賞は 4月10日(水)に発表されます! 楽しみです!!

因みに、音別町ふれあい図書館で蔵書している資料は次の通りです。

- ・夏川 草介さん『スピノザの診察室』
- ・凧良 ゆうさん『星を編む』
- ・青山 美智子さん『リカバリー・カバヒコ』

貸出急増中

本屋大賞とは、新刊書の書店で働く書店員の投票で決定するものです。



*ノミネートされた資料一覧をカウンター前のアクリルボードに貼っていますので、まずは予約をしてみませんか?

4月20日は『郵政記念日』タイトルに“郵便”が付いた小説を選んでみました!!

ほりかわ 堀川 アサコ『幻想郵便局』 きたがわ えりこ 北川 悦吏子『天国への郵便配達人』

おりはら 折原 みと『天国の郵便ポスト』 ささやま きゅうぞう 笹山 久三『郵便屋の涙』

たけきだ じゅんいち 武木田 純一『郵便局のはがきマラソン』



明治4年(1871年)4月20日に郵便制度が始まったことにちなむ記念日です。

4月新刊紹介

一般書・実用書



「老いてこそ、スマホ」/牧 壮
“人生後半のピンチ”はスマホに頼れ！
テレビばかり見てたらダメなんです！
老親へのプレゼントにも最適
スマホを使いこなせば、人生快適！
・災害のときに必要なのは、まずはスマホです！など参考になります。

「どうすれば日本経済は復活できるのか」
野口 悠紀雄
日本が没落した根本原因と日本が再興する唯一の方法を緊急提言！
内容として、物価が上がっても賃金が上がらないなどです。

絵本



「あたらしいね」 「おふろのいえで」
「ヤモリ3きょうだい」
「わにくんのだめだめプレゼント」
「ノラネコぐんだんぺこぺこキャンプ」



小説



「少女が最後に見た蛍」/天祢 涼
子どもによる事件を次々と解決に導く敏腕女性捜査員の心には警察官になったのは、あの子の自殺に責任を感じてるから？
かつて唯一救うことのできなかった少女が深い影を落としていた—

「山ぎは少し明かりて」/ 辻堂 ゆめ
「お願い、壊さないで。景色の一つ一つに過去が積み重なっているんです」
ダム湖の底に沈むことになったとある村で、かつて生まれ、育ち、愛する人と暮らした女性の闘いの物語。

児童書



「Wi-Fiのひみつ」
「mRNAのひみつ」
「ネコはとつてもいそがしい」
「紙の子ビーゴのぼうけん」
「ショートケーキこころが知りたい！」



今月のおすすめ作家

かきね りょうすけ
垣根 涼介さん

1966年4月27日 長崎県生まれ

『真夏の島に咲く花は』2006年 『張り込み姫』2010年 『狛犬ジョンの軌跡』2012年

『迷子の王様』2014年 『信長の原理』2018年 *他にもご用意しています。是非、借ってみませんか!?



なお、2023年7月19日『極楽蝦夷大将群』直木賞大賞に選ばれています!!

図書館からの情報は表面に記載しています。


その他の新刊紹介は表面のふれあい図書館 HP
QRコードから…



新刊紹介



(一般教養・実用書)

- 枘野 俊明 「悩みを笑い飛ばす力」
 牧 壯 「老いてこそ、スマホ」
 菊池 真由子 「食べても太らないのは、どっち？」
 佐藤 義竹 「発達障害の子のためのできる道具」
 オレンジページ 「シマエナガと交換日記」
 池本 克之 「何でも言える職場はどっち？」
 日本離島センター 「島々の日本」 
 扶桑社 「皇室 101号」
 内藤 裕二 「不調の9割は腸が解決してくれる」
 野口 悠紀雄 「どうすれば日本経済は
復活できるのか」
 河合 敦 「日本史で読み解く「世襲」の流儀」
 柴田 ケイコ 「パンどろぼう せかいいち
かわいいてづくりこもの」
 沢辺 有司 「教養として知っておきたい
33の哲学」

(絵本)

- 「あったらいいね」
 「おふろのいえで」
 「ヤモリ3きょうだい」
 「わにくんのだめだめプレゼント」
 「ノラネコぐんだんぺこぺこキャンプ」



(小説)

- 天祢 涼 「少女が最後に見た蛍」
 井戸川 射子 「共に明るい」
 乾 ルカ 「葬式同窓会」
 小川 糸 「椿ノ恋文」
 桜木 紫乃 「彼女たち」
 高瀬 隼子 「うるさいこの音の全部」
 月村 了衛 「半暮刻」
 辻堂 ゆめ 「山ぎは少し明かりて」
 村山 由佳 「記憶の歳時記」
 原田 マハ 「黒い絵」
 東野 圭吾 「ブラック・ショーマンと
覚醒する女たち」
 廣野 由美子 「シンデレラはどこへ行ったのか」
 ヤマザキ マリ 「扉の向う側」



(児童書)

- 「Wi-Fiのひみつ」
 「mRNAのひみつ」
 「紙の子ピーゴのぼうけん」
 「ネコはとってもいそがしい」
 「ショートケーキここが知りたい！」



「山ぎは少し明かりて」 辻堂 ゆめ
 「お願い、壊さないで。景色の一つ一つに過去が
積み重なっているんです」
 ダム湖の底に沈むことになったとある村で、かつ
て生まれ、育ち、愛する人と暮らした女性の戦いの
物語。